
空の軌跡 ~ 漆黒の転生者 ~

西斗

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

空の軌跡 ～漆黒の転生者～

【Nコード】

N8541Z

【作者名】

西斗

【あらすじ】

普通な世界をつまらなく感じた少年はトラックにはねられ死んだ。そして、神により別の世界に転生される。今、少年の新しい人生が始まる。

(初めての作品になります。作者の都合で書いていますので、嫌な方は引き返して下さい。お読みくださる方は感想をお願いします。)

ブログ 上(前書き)

誤字、脱字などありましたら御指摘お願いします。

悪態、嫌味などはご遠慮下さい。

プロローグ 上

とある少年は普通の生活の中、とある変化を求めていた。

だがそれは、まともな人からしてみても、良くいえば夢、悪くいえば妄想、そう言われる変化だ。

しかし、少年の夢は、少年にとって現実となる。

‘ 20XX年11月某日 ’

今日は俺 黒澤 勇 (くろさわ ゆう)の誕生日だ。今日で17歳になり普通に生きてきたがそんなに良い人生ではなかった気がする。

悪い人生だったわけじゃない。

普通に家族もいたし、普通に友達もたくさんいた、普通に高校にも通って、不自由なく普通に暮らして行ってきた。

けど、その“普通”がつまらなかった。

日常の中でマンガやSF・ファンタジーな小説を読むたび思うことがあった。

『俺の生きている世界はつまらない』

小説を読むたび、こんな世界だったらいいのに…といつも思っ
てしまう。

友達に話したことがあるが、「それは妄想だろ？」なんて言っ
て笑われた。

自分でもそれはわかっているが、ますます自分の思いは大きくな
っていった。

ある日俺はある小説を読んだ。それは死んだ人間が転生し別の世界
で活躍するという物語だった。

これなら俺でも…と思ったが、死ぬのは怖いし痛いのも嫌だから無
理だった。

だけど…俺は死んだ。

痛みも恐怖も感じる暇も無く。死んだのだ。

目の前には道路の真ん中で全身血まみれの自分が転がっていてその
先に大型トラックがガードレールに突っ込んだ状態で止まっている。
更に救急車やパトカーまで来ていて、俺は死んだということがすぐ
にわかった。

「……死んでみてどうですか？」

いきなり声がかけれられ反射的に振り向くとそこには白い翼の生えた
女性が浮いていた。

「えっ？て、天使？！」

「はい、天使です。で、死んだ気分はいかがですか？」

あっけなく返事をしてくる天使に俺は返す言葉を考えた。そして結

論は…

「あつという間でよくわからなかったよ。」

「…そうですね、では行きましょつか。」

「??、えっ、どっどこ?」

「神様の元へですよ。」

プロローグ 下

気がつくのと辺り一帯が真っ白な空間だった。

「神様、彼を連れてきました。」

天使の女性がそう言うと、目の前に白髭の老人が現れた。

「おお、ご苦労さん。下がって良いぞ。」

老人が言うと女性は何も言わずにそこから消えた。

「さて、君は黒澤 勇であつとるかのう？」

「え、はい、そうですが…何か？」

「いや、今まで君のことを見ていて思ったんじゃよ、………つまらなかつたじゃろ？」

「………はい、はつきり言つてつまらなかつたです。」

「なら、他の世界に行つてみるか？」

「行けるの！？………でも、俺は死んだら？どうやっていくんだ？」

「お主を転生させるのじゃ。わしは神だからの、簡単なことじゃよ。」

「まじかよ！転生できるんだ！」

「でもさ、なんでそこまでしてくれるの？」

「じ、実はのう、お主が死んだのはわしのミスなんじゃよ。」

「ミス？何したのさ？」

「寿命で死ぬ筈だった爺さんと間違えてお主の生命力を切ってしまったんじゃよ。」

「ナ、ナンダツテ。」

「ホントにすまんのう。」

「別に良いさ。他の世界に転生させてくれんだろ？それで満足さ！」

「そうか、なら本題に入ろつかのう。どの世界に行きたいのじゃ？」

行きたい世界か、いろいろあるけどやっぱりあそこだな。

「空の軌跡の世界、行ける？」

「おお、あそこじゃな？時期はどうするかのお？」「エステルとヨシユアが会う前から！」

「は、早いのう……では最後にお主の願いを5つ叶えてやろう！」

「まじで！じゃあさっそく一つは身体能力最強で、二つ目は俺が知ってるアニメやゲームの力や能力を使えるようにしてくれ！」

「わかったぞい、……ほい、できたぞ。三つ目はなんじゃ？」

「三つ目は容姿を良くしてくれ。」

「わしは、そんなことしなくても良いと思っぞ？」

え、なんで？

「お主の容姿は元々良かったからの。容姿の変更は却下じゃ。」

そうか？自分じゃ格好良いかなんてわからないからな、まあいいか。

「なら、変わりに行き先の世界の金をくれる？無くならない位の額で。後、4つ目と5つ目は思いつかないから思いついてからで良い？」

「金はおつけーじゃ、まあ無理にとは言わんから思いついてからで良いぞ。ではそろそろ行ってみるか？」

「ああ、良いよ。」

「では、行って来るがよい！」

そして、俺は真っ白の空間から消えた。

「頑張つて来るが良い。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8541z/>

空の軌跡 ~ 漆黒の転生者 ~

2011年12月27日00時52分発行